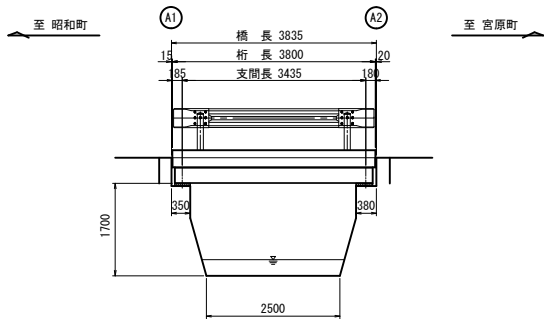
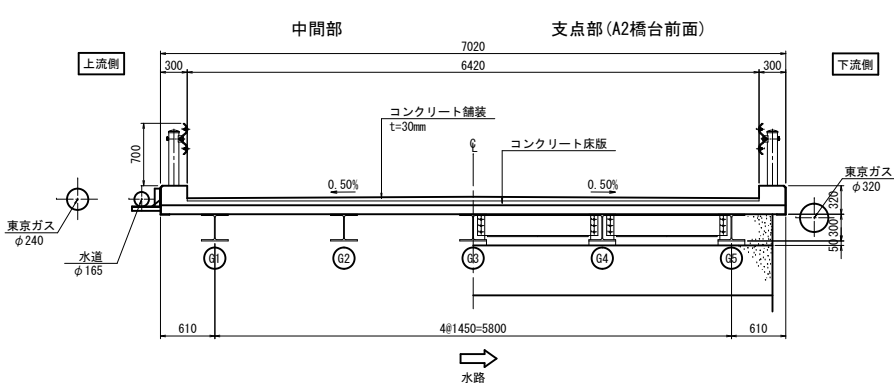


中河原橋 現況一般図

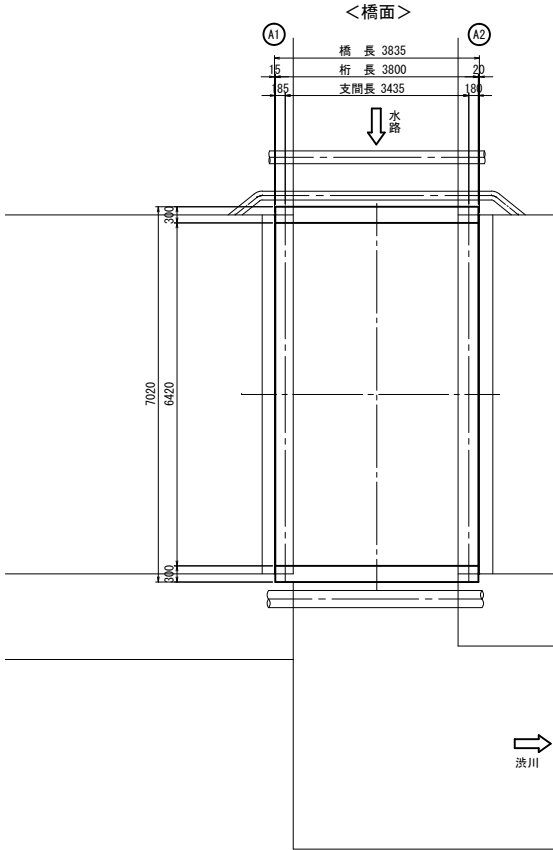
側面図 S=1:50



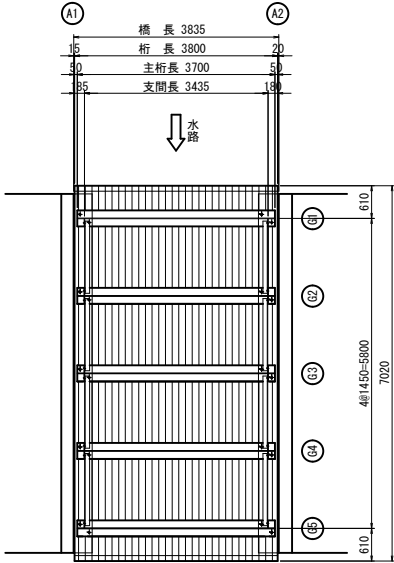
断面図 S=1:30



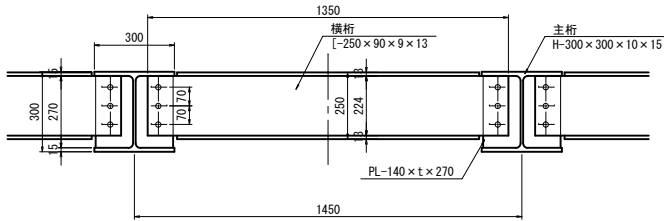
平面図 S=1:50



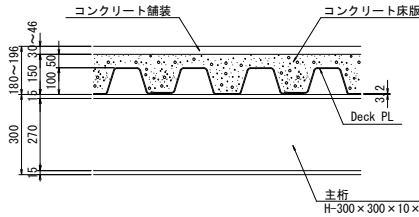
<桁下面>



主桁・横桁詳細図 S=1:10



床版詳細図 S=1:10



橋梁諸元表

竣工年月	昭和49年(1974年)	
橋格	不明	
型式	上部工	単純鋼H型桁橋(非合成)
	下部工	不明
橋長	橋長	L= 3.835m
	桁長	L= 3.800m
全幅員	全幅員	W= 7.020m
	有効幅員	W= 6.420m
斜角	斜角	90° 00' 00"
	舗装	コンクリート床版
交差条件	交差条件	水路
	適用示方書	不明

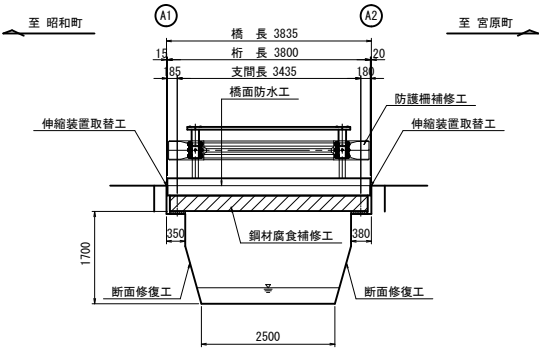
<注記>

1. 本図は既往の図書及び実測により作成した一般図である。

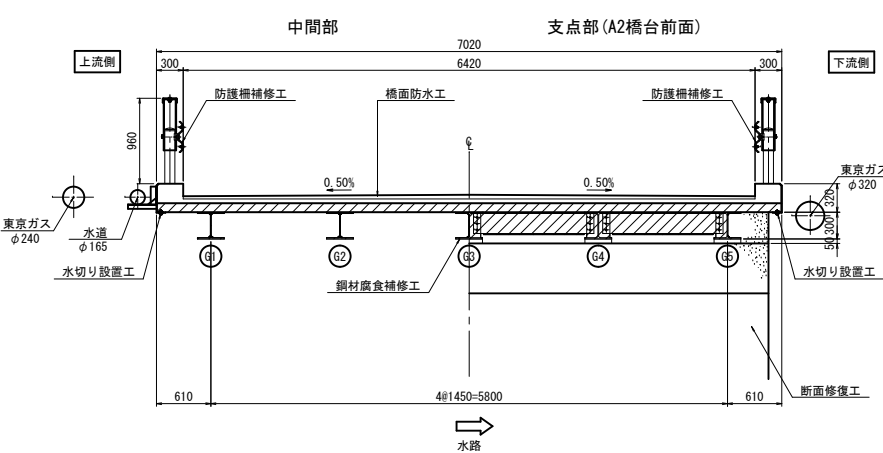
工事名	橋梁補修工事(R6-3)		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路線名	国母工業団地2号線		
図面名	中河原橋 現況一般図		
縮尺	図示	図面番号	1/9
会社名	大日コンサルタント株式会社		
甲府市			

中河原橋 補修一般図

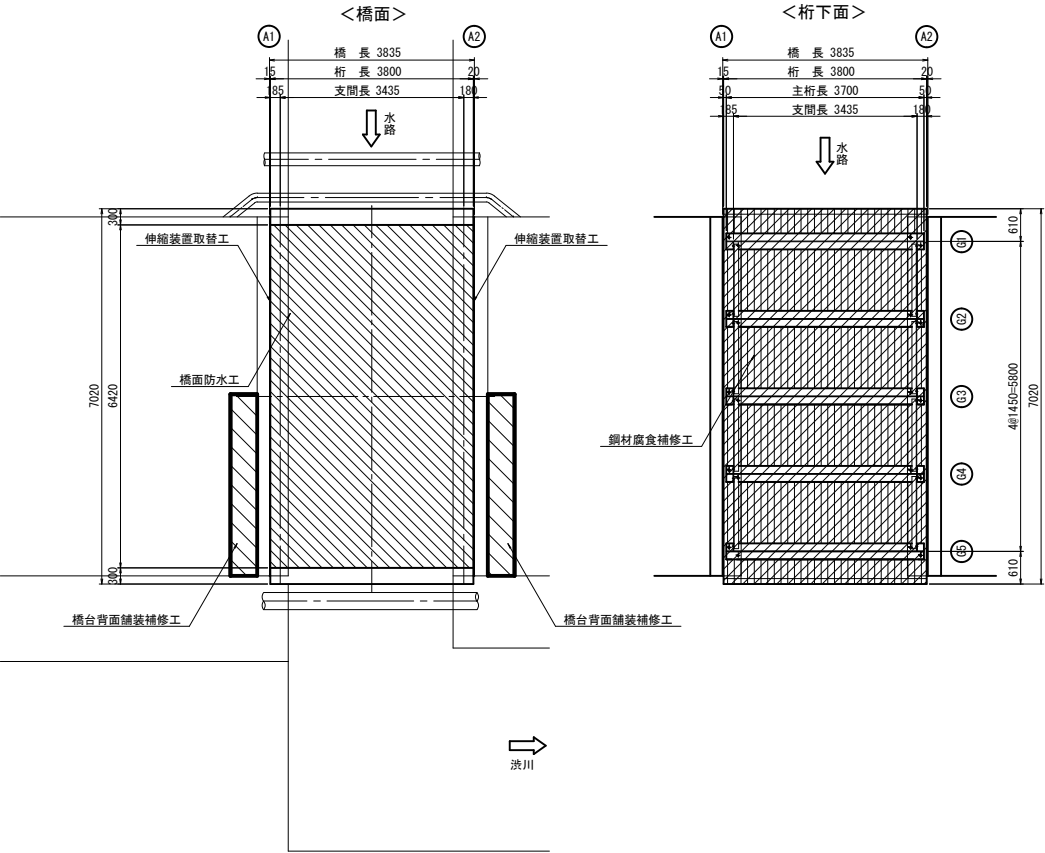
側面図 S=1:50



断面図 S=1:30



平面図 S=1:50



補修項目一覧表

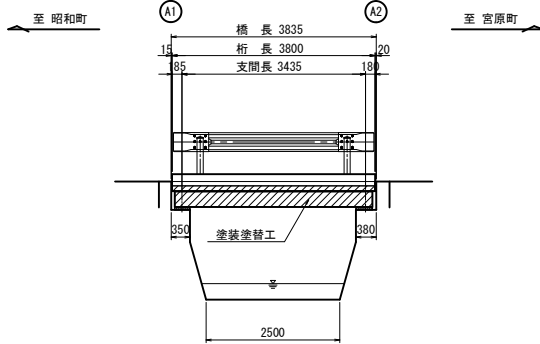
	補修内容	施工箇所
補修	鋼材腐食補修工(塗装塗替)	鋼部材(防護柵を除く)
	橋面防水工	橋面全面、橋台背面(舗装補修)
	伸縮装置取替工	A1橋台、A2橋台
	水切り設置工	張出床版
	断面修復工	下部工
	防護柵補修工	ビーム取替、支柱嵩上げ

＜注記＞
1. 現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法等を決定すること。

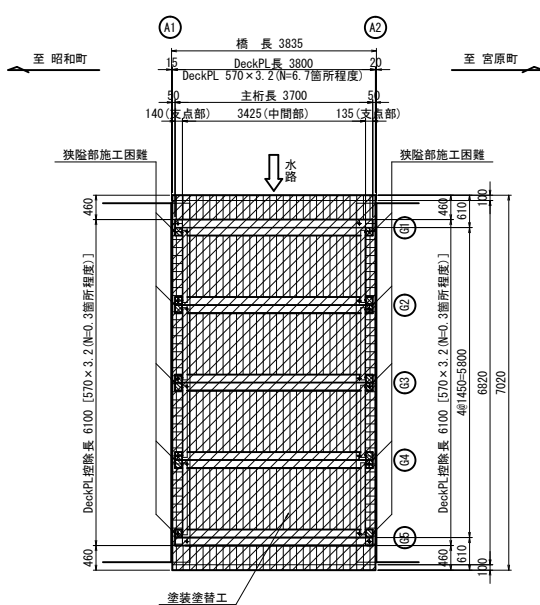
工事名	橋梁補修工事(R6-3)
工事場所	甲府市 大里町 地内
路線名	国母工業団地2号線
図面名	中河原橋 補修一般図
縮尺	図示 図面番号 2/9
会社名	大日コンサルタント株式会社
甲府市	

中河原橋 鋼材腐食補修工

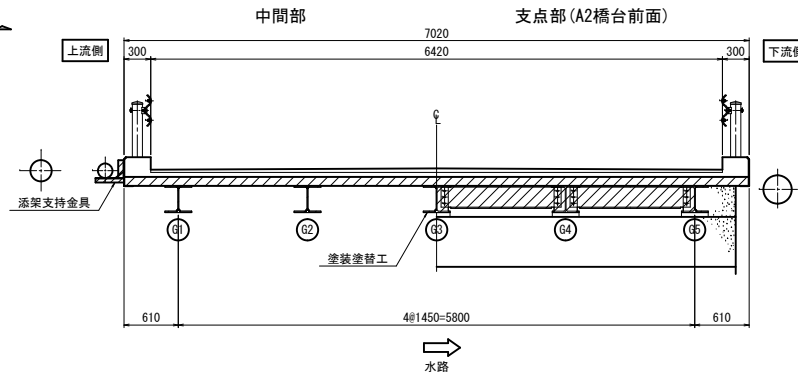
側面図 S=1:50



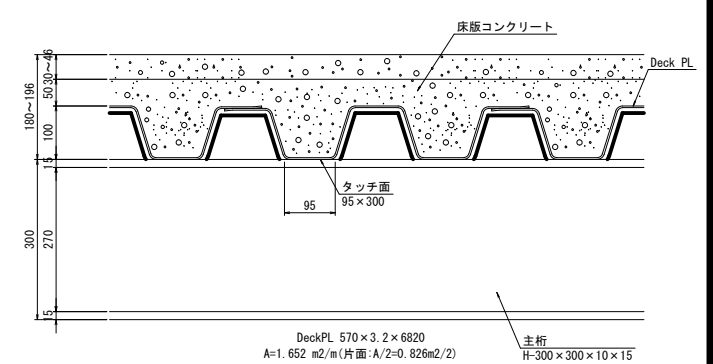
平面図 S=1:50



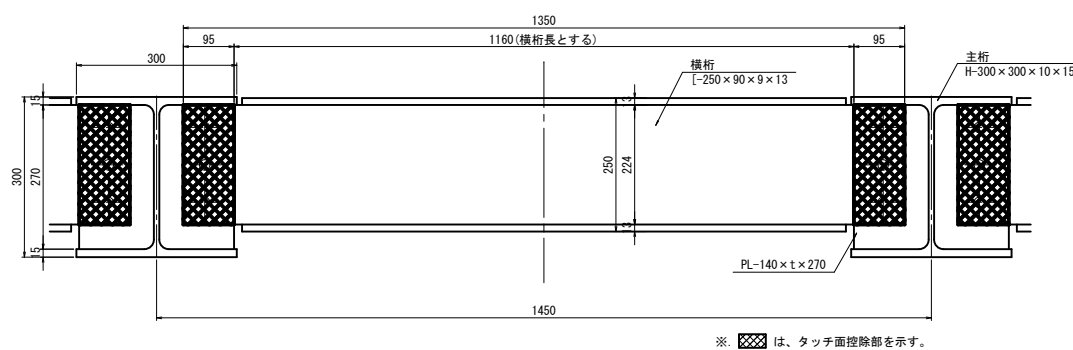
断面図 S=1:30



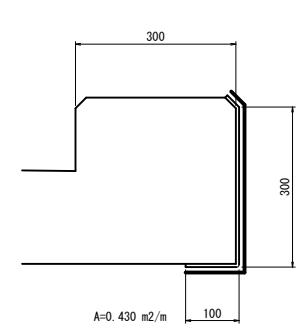
DeckPL詳細図 S=1:5



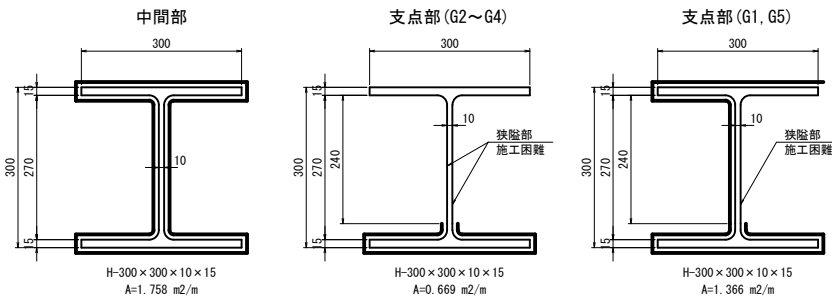
横桁詳細図 S=1:5



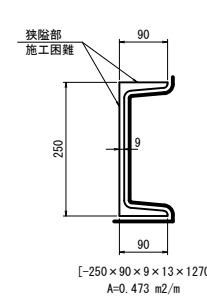
地覆端部詳細図 S=1:5



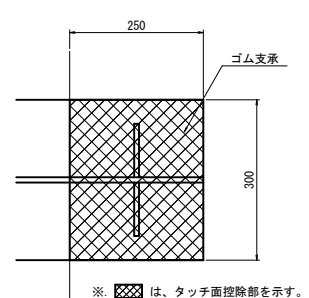
主桁断面 S=1:5



横桁断面 S=1:5



支点上平面図 S=1:5



塗装仕様 (剥離剤+錆転換型防食塗装)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)
剥離剤	環境対応型塗膜剥離剤	500
素地調整	2種ケレン	
洗浄	サビバリアー脱脂洗浄剤	50
下地処理	-	-
下塗	サビバリアー下塗り剤	150
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

塗装剥離剤で、2種ケレンの仕上がり程度に適合しない場合はブラストや動力工具での後処理を行うこと。

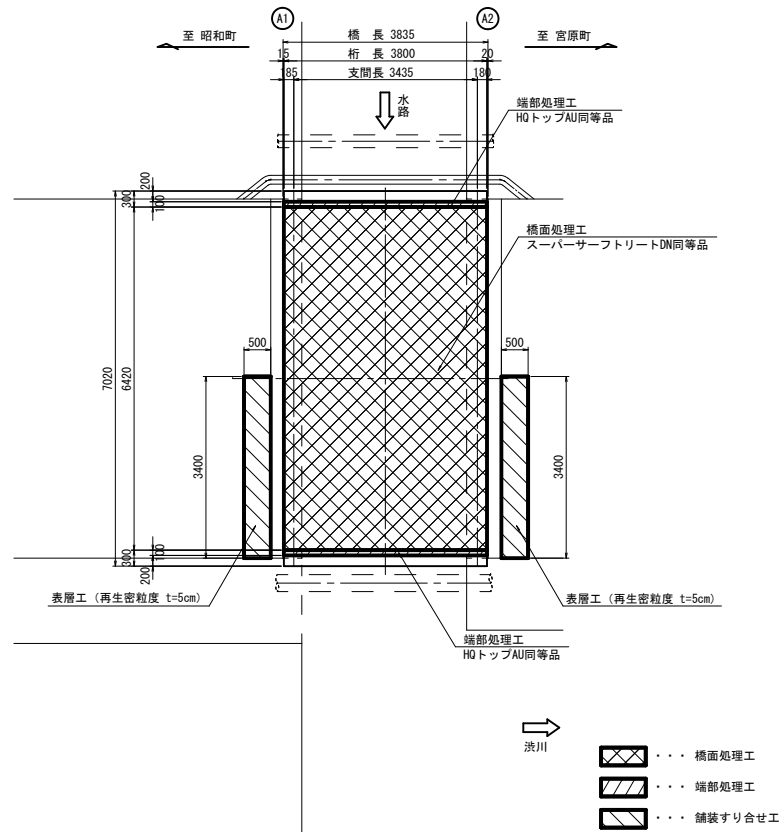
〈注記〉

1. 施工に関しては、現地寸法を確認のこと。
2. 塗替え塗装系は錆転換型防食塗装とする。
3. 剥離剤は、試験施工を実施し現地条件に合致したものを選定する。
4. 既設塗膜は、特定有害物 (鉛・クロム・PCB 等) を含有しているため、必要な防護措置を行うこと。

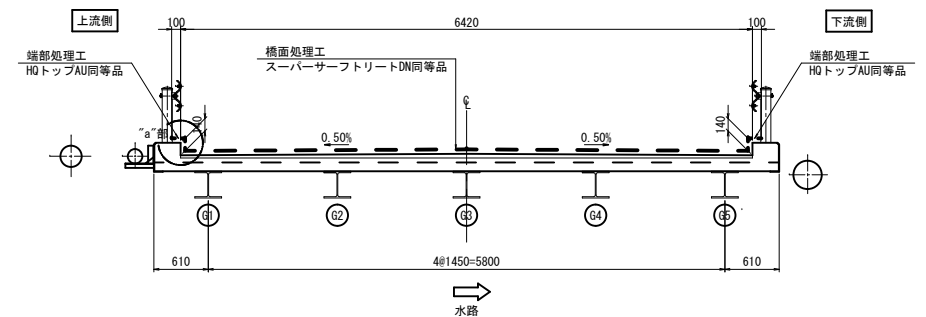
工事名	橋梁補修工事 (R6-3)
工事場所	甲府市 大里町 地内
路線名	国母工業団地2号線
図面名	中河原橋 鋼材腐食補修工
縮尺	図示 図面番号 3/9
会社名	大日コンサルタント株式会社
甲府市	

中河原橋 橋面防水工

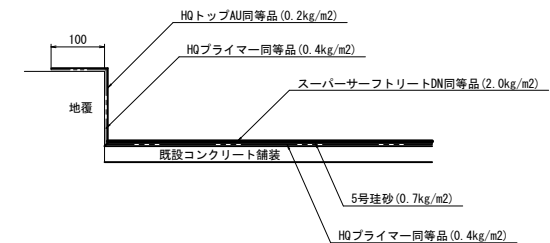
平面图 S=1:50



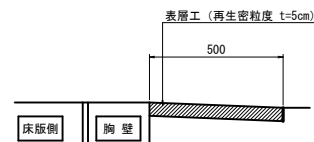
断面図 S=1:30



a部詳細図 S=1:5



舗装すり合せ工詳細図 S=1:10



施工フロー



橋面防水工 数量表

細 別	規 格	単位	数 量	備 考
橋面処理工	スーパーサーフトリートDN同等品	m2	24.4	
端部処理工	HQトップAU同等品	m2	1.8	

舗装すり合せ工

細 別	規 格	單位	數 量	備 考
表層工		m ²	3.4	

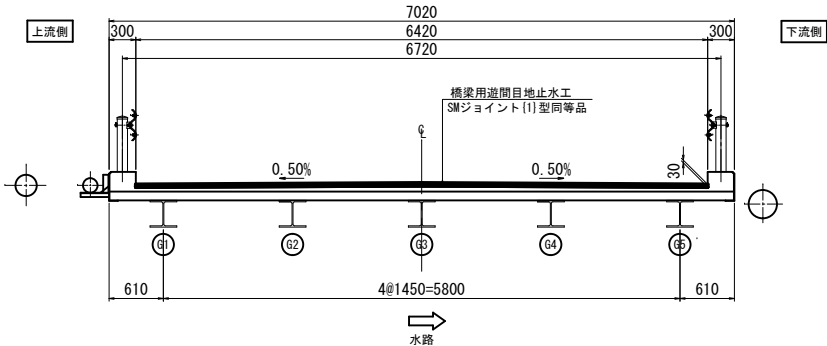
〈注記〉

1. 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
2. サーフトリートメントの適用期間は4月～10月、適用気温は5℃以上である。
使用する時期が適用期間および適用気温に該当しない場合、スーパーサーフトリートメント同等品以上を使用すること。

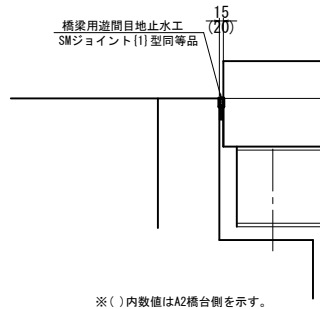
工 事 名	橋梁補修工事 (R6-3)		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路 線 名	国母工集団地2号線		
図 面 名	中河原橋 橋面防水工		
縮 尺	図示	図面番号	4/9
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

中河原橋 伸縮装置取替工

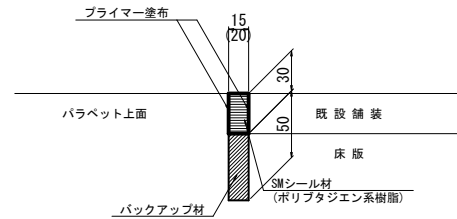
断面図 S=1:30



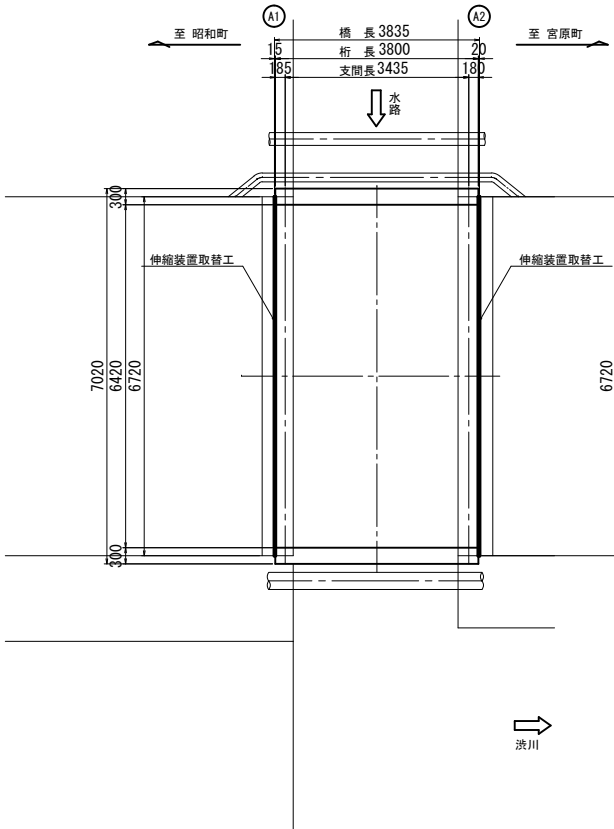
側面図 S=1:30



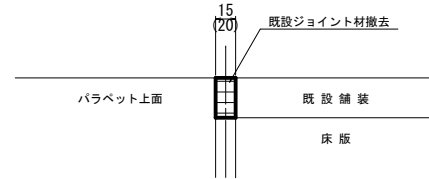
橋梁用遊間目地止水工 S=1:2



平面图 S=1:50



既設撤去工 S=1:2



```

graph TD
    A[橋梁用遊間目地止水工] --> B[既設ジョイント材撤去]
    B --> C[清 掃]
    C --> D[バックアップ材の設置]
    D --> E[プライマー塗布]
    E --> F[SMシール材の充填]
    F --> G[補修部表面の保護]
    G --> H[表面仕上げ]
    H --> I[養 生]
  
```

使用材料單位數量表

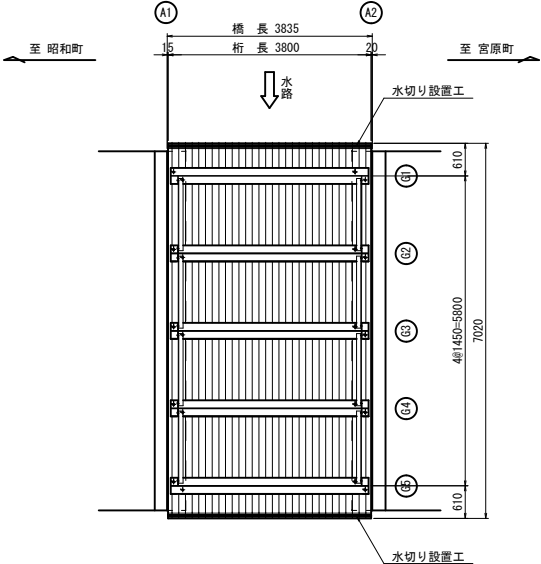
名 称	品 名	単位	数 量	備 考
SWジョイント(Ⅰ)型同等品	SWシール材(ポリブタジェン系樹脂)	リットル	7.8	
プライマー	専用プライマー	リットル	0.1	
バックアップ材		m	13.4	

1. 施工に関しては、現地寸法を確認のこと。

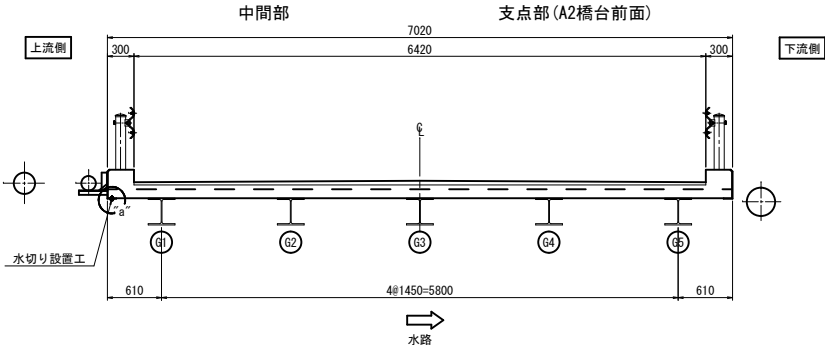
工 事 名	橋梁補修工事 (R6-3)		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路 線 名	国母工業団地2号線		
図 面 名	中河原橋 伸縮装置取替工		
縮 尺	図示	図面番号	5/9
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

中河原橋 水切り設置工

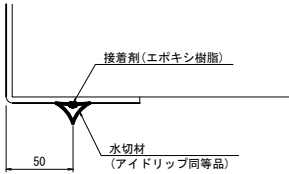
平面図 S=1:50



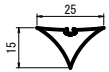
断面図 S=1:30



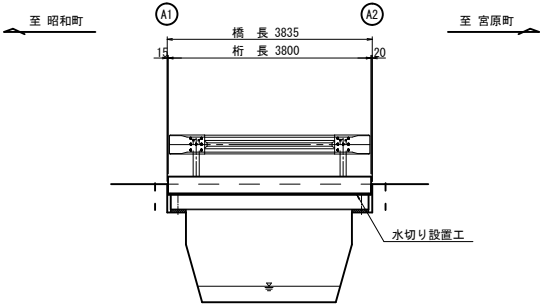
“a”部詳細図 S=1:2



水切材形状図 S=1:1
(アイドリッパ同等品)



側面図 S=1:50



水切り設置工 数量表

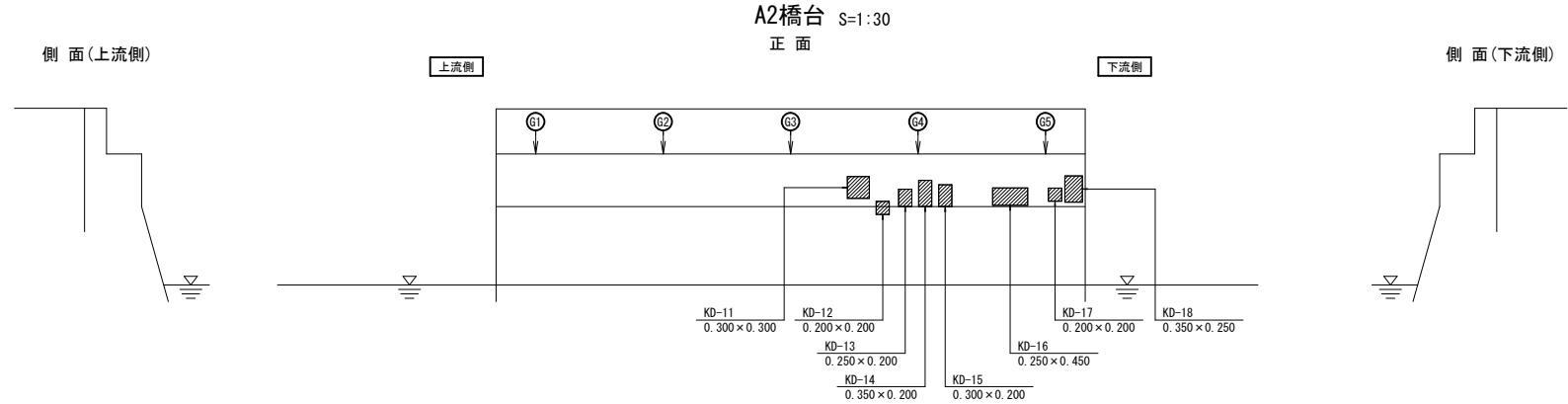
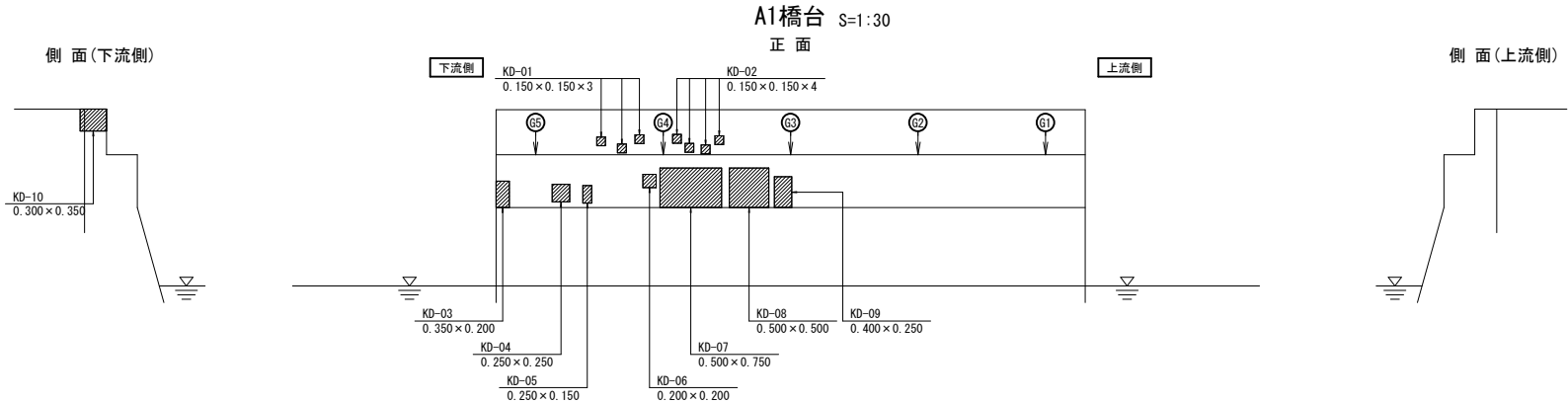
項目	規格	単位	数量	摘要
水切材	アイドリッパ同等品	m	7.6	
表面処理		m2	0.2	水洗い

1橋当り

- ＜注記＞
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
 - 水切り設置面は十分に埃等の除去、清掃を行うこと。
 - 本施工は塗装塗替後に行うこと。

工事名	橋梁補修工事 (R6-3)
工事場所	甲府市 大里町 地内
路線名	国母工業団地2号線
図面名	中河原橋 水切り設置工
縮尺	図示 図面番号 6/9
会社名	大日コンサルタント株式会社
甲府市	

中河原橋 断面修復工



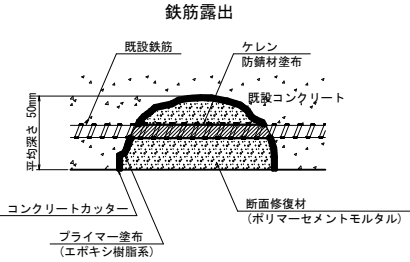
断面修復工（鉄筋ケレン・防錆処理含む）数量表 1橋当り

損傷箇所	No.	W×L×平均深さ(m)	V(m3)
A1橋台	KD-01	0.150×0.150×0.050×3箇所	0.0034
	KD-02	0.150×0.150×0.050×4箇所	0.0045
	KD-03	0.350×0.200×0.050	0.0035
	KD-04	0.250×0.250×0.050	0.0031
	KD-05	0.250×0.150×0.050	0.0019
	KD-06	0.200×0.200×0.050	0.0020
	KD-07	0.500×0.750×0.050	0.0188
	KD-08	0.500×0.500×0.050	0.0125
	KD-09	0.400×0.250×0.050	0.0050
	KD-10	0.300×0.350×0.050	0.0053
A2橋台	KD-11	0.300×0.300×0.050	0.0045
	KD-12	0.200×0.200×0.050	0.0020
	KD-13	0.250×0.200×0.050	0.0025
	KD-14	0.350×0.200×0.050	0.0035
	KD-15	0.300×0.200×0.050	0.0030
	KD-16	0.250×0.450×0.050	0.0056
	KD-17	0.200×0.200×0.050	0.0020
	KD-18	0.350×0.250×0.050	0.0044
施工量合計			0.0875

コンクリートガラ 数量表 1橋当り

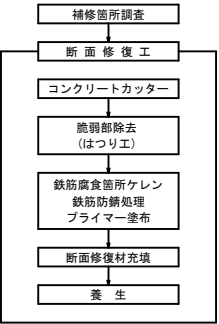
損傷箇所	W×L×平均深さ(m)	V(m3)
下部工	施工量合計	0.0875

断面修復工詳細図(参考)
(鉄筋ケレン・防錆処理を含む場合)

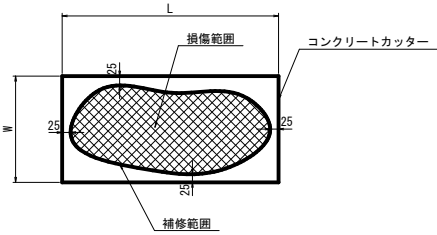


- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
- ※ 脆弱部および鋼材の裏側までコンクリートをはつり取る。
- ※ 腐食した鋼材の錆を完全に除去する。

施工手順

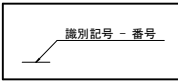


断面修復範囲図



※ 損傷部より25mm程度の余裕を確保し、5cmラウンドの長方形の範囲に対して断面修復を行う。

旗揚げ凡例



識別記号

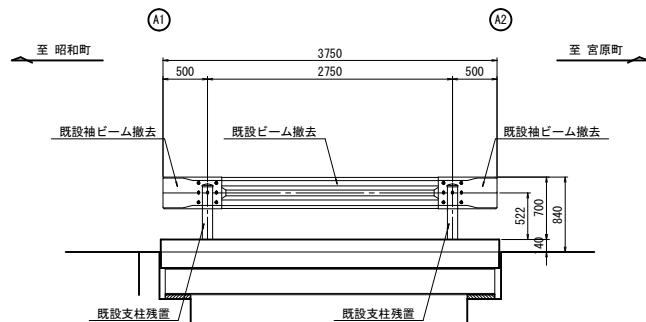
識別記号	施工箇所
KD-00	下部工

- <注記>
- 施工時は、現地寸法を確認のこと。
 - 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
 - 脆弱部は、はつり落とすこと。
 - カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
 - 断面修復の範囲は、「現地調査」等に基づき決定している。
施工時は、劣化範囲の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。

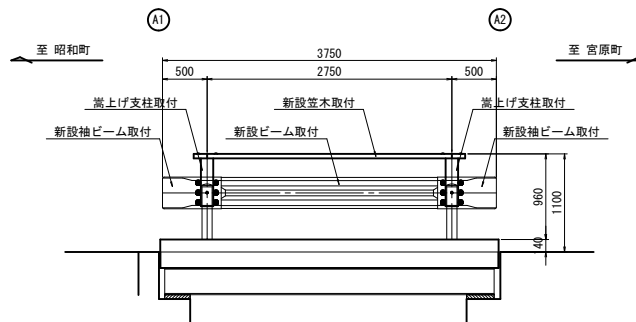
工事名	橋梁補修工事 (R6-3)
工事場所	甲府市 大里町 地内
路線名	国母工業団地2号線
図面名	中河原橋 断面修復工
縮尺	図示 図面番号 7/9
会社名	大日コンサルタント株式会社
甲府市	

中河原橋 防護柵補修工

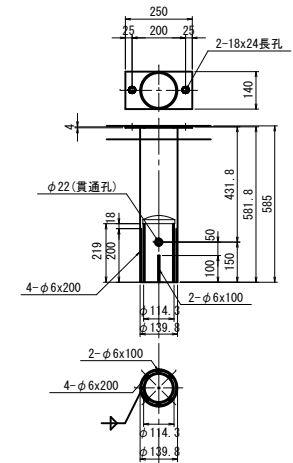
既設撤去図 S=1:30



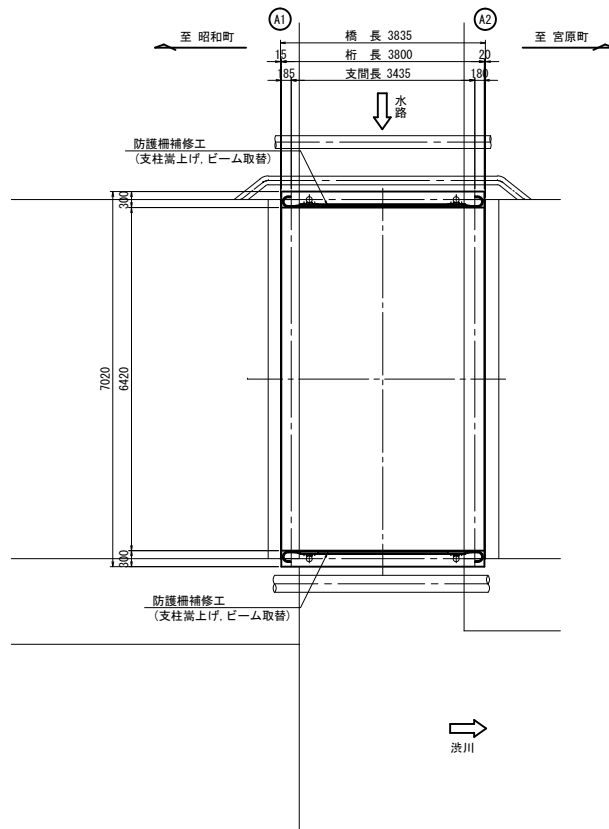
補修詳細図 S=1:30



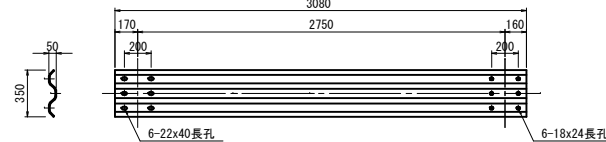
嵩上げ支柱詳細図 S=1:10



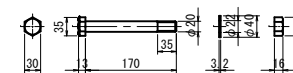
平面図 S=1:50



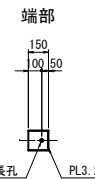
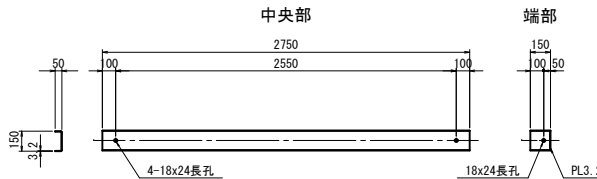
ビーム詳細図 S=1:20
C種



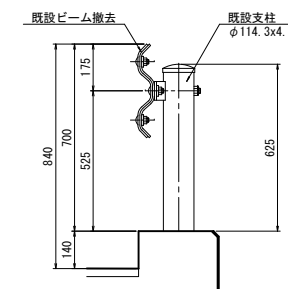
ブラケット取付用ボルト S=1:5
M20×170



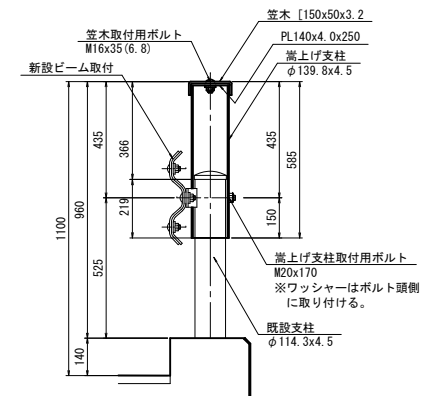
笠木詳細図 S=1:20
中央部



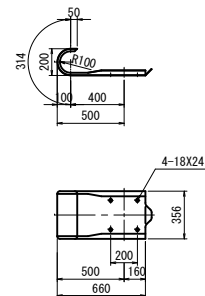
撤去詳細図 S=1:10



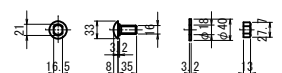
取付詳細図 S=1:10



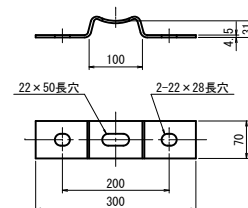
袖ビーム詳細図 S=1:20
C種



ビーム・笠木取付用ボルト S=1:5
M16×35



ブラケット S=1:5



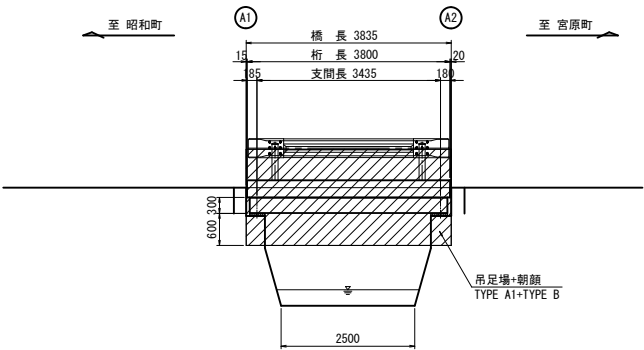
<注記>

1. 現地実測の上、寸法の決定を行うこと。

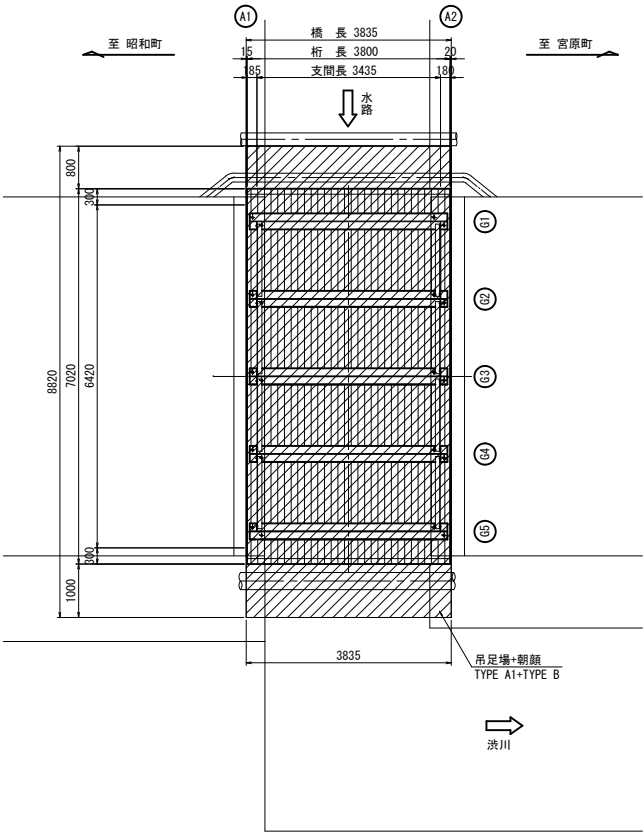
工事名	橋梁補修工事 (R6-3)
工事場所	甲府市 大里町 地内
路線名	国母工業団地2号線
図面名	中河原橋 防護柵補修工
縮尺	図示 図面番号 8/9
会社名	大日コンサルタント株式会社
甲府市	

中河原橋 仮設計画図[参考図]

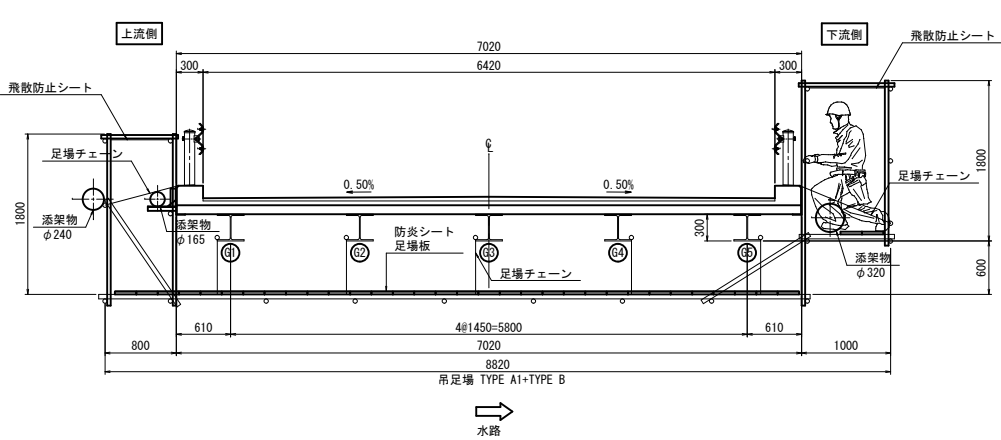
側面図 S=1:50



平面図 S=1:50



断面図 S=1:30



補修用足場工 数量表

				1橋当り
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
吊足場	TYPE A1 (桁高<1.5)	m2	34	シート張防護
朝顔	TYPE B	m2	34	シート張防護

- <注記>
- 足場工の設置は「橋梁架設工事の積算(令和5年度版)」に準拠している。
 - 施工に際しては、必要に応じて強度計算を行い、適切な部材配置を行うこと。
 - 剥離作業は「労働安全衛生法」「鉛中毒予防規則」に基づいて行うこと。
 - 剥離作業や塗装塗替時においては、近隣住民と河川への影響に留意すること。(シート張り防護工・集塵機設置による対策等)
 - 足場工設置高については、河川の通水断面を確保するため、桁下60cm程度とする。
これによりがたい場合は監督員と協議すること。
 - 作業者の人体への影響に留意すること。(呼吸用保護具・保護衣等の使用)
 - クリーンルームを甲府市管理水路の左岸側に設置することとしているが、監督員と協議の上決定すること。

工 事 名	橋梁補修工事(R6-3)		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路 線 名	国母工業団地2号線		
図 面 名	中河原橋 仮設計画図[参考図]		
縮 尺	図示	図面番号	9/9
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			